

「ぼくとわたしのリサイクル」

越谷市 四年 戸崎 孝祐（とぎき こうすけ）

ぼくは、リサイクル・プラザJBを見学しました。始めに、学習室で見たビデオで、思ったことが三つあります。一つ目は、リサイクル・プラザJBは、ジャパンビバレッジと言う会社を作ったんだと言う事が分かりました。ぼくはふだん、ジャパンビバレッジの会社の車をよく見ていたので、身近に感じました。二つ目は、回収ぶくろの事です。ぼくはふくろを捨ててしまうものかと思っていましたが、ふくろは固形ねん料として使われているのでびくりしました。三つ目は、ごんさの事です。ごんさは、人の手で取っていて、たくさんのい物が入っているの。でごんさを取る人は、大へんだと思いました。回収ボックスに、一回はよけいな物を入れた事があると、思うので反省しました。

次に、工場の中の見学をした時に大きな音や、ものすごいにおいでびくりしました。リサイクルする物なのに、生ゴミと同じにおいがする事に、おどろきました。そして、普段飲んでいるジュースのストीलカンの上の部分はアルミで出来ていたという事に気づかされました。カン、ビン、ペットボトルは、どのようになりサイクルされて行くのか、ビデオ、機械によって、よく分かりました。カンはペレット。びんは、ガラスカレット。ペットボトルは、ベール品になって、また別の所へ売って、新しい物に生まれかわると言う事がよく分かりました。そして初めて、ストीलは鉄こう石、アルミはボーキサイト、ペットボトルは石油、ビンはけい砂、地球が作ったしげんが原材料という事を知りました。

ぼくの学校では、毎週水曜日に、JRC「青少年赤十字」委員が、各教室に、ペットボトルのキャップを集めに来ます。キャップを一回わたすごとにシ

ールがもらえます。五こ集めるとしおりがもらえます。家では、牛にゆうパックに、ペットボトルのキヤップをためて、いっぱいになったら学校に持って行きます。

ぼくの家では、ゴミの種類できちんと分けて、ゴミを出しています。ほかにも再生紙百パーセントのトイレットペーパーを買ったりしています。お母さんが、リサイクルは、「地球にも、家計にもやさしいんだよ。」と言っていました。ぼくもリサイクル商品に出会ったら買いたいと思います。リサイクル・プラザJBを見学して、地球の未来のためにも、リサイクル商品のためにも、大切な工場だと思いました。